

めだかの学校だより

令和5年8月1日

第120号

学舎：周智郡森町

「一宮総合センター」

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL:0539-62-6691

校長訓話

第一二〇回 校長 鷲山 記世

皆様こんにちは。
めだかの学校には1回しか出席したことがない私が今回校長を務めさせていただくことになりました。恐縮に存じます。

早速ではございますが自己紹介も兼ねて筆を執らせていただきます。
掛川市議会議員の鷲山記世（わしやまのりよ）と申します。「キラリと明るい、人にやさしいまち」であってほしいと切に願っています。

同時に社会がそうあってほしいため議員として活動しております。皆様、何卒よろしくお願い申し上げます。
榊原さんにお声がけいただいたときは迷いましたが、ちょうどそのとき母校の同窓会の案内が届きました。同封されていた同窓会誌に「苦手なものほどやってみる」という一文が記載。これもタイミングかなと思ってお引き受けいたしました。

さて、私は自分のフェイスブックに市議会議員としての活動やダウン症の妹をとおして感じたことを書かせ

ていただいています。

私は立候補を決めたときから朝の辻立（ご挨拶）を始めました。当選後、先輩めだかである宮澤博行衆議院議員から「続けるんだよ続けるんだよ」とおっしゃっていただきました。最初はよく理解できませんでしたが、続けてみると不思議と見えてくるものがあります。毎日決まった時間に通勤登校する方。すでに仕事の方。当たり前ですが市民1人1人、各々がおかれた場所を歩んでいます。そしておかれた場所が同じになったとき他者との関係を持ちます。

議員は多くの方と出会い、関係性が生じていきます。それを大切にしながら活動をしていきたいと思っております。朝の辻立では通勤・登校する方にご挨拶をしたり、ちよつと会話をしたりと楽しいひと時を過ごしております。

小中学校の卒業式の日、来賓として出席させていただきました。朝の辻立中に挨拶を交わす児童生徒が私の顔を見た瞬間に微笑んでくれたとき、一瞬で終わる挨拶だけでも辻立を継続してよかったと心から思えました。また市議だからこそ来賓として卒業式に

出席できるため感謝の気持ちがあふれてしまいました。

また、保護者の方からも「鷲山さんは子どもが大きくなったとき思い出される存在なんだよ」とおっしゃっていただいたとき、ありがたいと思うと同時に背筋が伸びる思いがしました。このようにほろつとする瞬間があつたり、いただいたご相談を解決するために一般質問に取り組んだりと充実した時間を過ごさせていただいております。

さて、妹はありがたいことに他者と関係を持つ場がたくさんの方の愛情に包まれてきました。私は今、東遠学園だいておありませくさんのと育つ障がい障がいが地元で育つ切さや家族はどんなことができるのかを当日少しかお話をできればと思ひます。



めだかの学校伝言板

第120回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／鷲山記世

教頭／横山忠志

用務員／村田徳治

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっています。

手洗い、消毒、マスク、検温をして3密は避けて下さい。

開校日／令和5年9月2日（土）正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄（後見人）

31期通年テーマ：『原点に帰ろう…建学のこころの精神に』

今回のテーマ：「誰が生徒で先生で…」

<時間割>

- 1時間目 情報教育
「今更聞けない？デジタルの世界って…」小林成彦先生
- 2時間目 社会
「企業より人って…」河原俊文先生
- 3時間目 古文
「今の時代に方丈記って…」袴田克臣先生
- 給食は取り寄せです。

PM3:15開校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■全国まちづくり交流会 IN ヨロン島

第19回全国まちづくり交流会がヨロン島で6月16日の前夜祭から6月17日の協議会、6月18日のエコツアーと、3日間の行程で開かれた。奄美、沖縄には行ったことがあっても与論は初めて、期待が高まる。私が10代後半の頃与論島ブームがあった。今から50年近く前のことになる。沖縄返還前に日本最南端の島として人気を博し年間20万人が訪れた。今はその3分の1、人口5000人の島であれば丁度いいか。羽田→沖縄→与論と乗り継ぎ、着いた時には土砂降り。ヨロンブルーが売りのエコツアーも合羽を着ての参加とあいなった。

島はサンゴ礁が隆起してできていて海の向こうの見える範囲にはサンゴ礁のリーフがあり囲まれた穏やかな海がそこにはある。特に人気があるのが干潮時に現れる砂浜「百合ヶ浜」だ。船で渡してもらい雨の中ではあるが皆大はしやぎ。

ツアーの後が交流会の本番。会場はサビチラ館。島外からの参加者約80名。めだかの学校からは4人。これに島内の役場、議会、関係団体の方々が20〜30名加わり、互いに交流を深めた。講演の部では副町長の祝辞に続き、与論民俗村の菊さんが島の歴史、観光協会の柳田さんは持続可能な観光地づくりのお話をされた。

講演終了後はフラダンスや島唄ライブといったアトラクションを交えて大交流

会。料理は島婦人たちの手づくり。そして黒糖焼酎。交流会は座つてじっくり酒を飲むという場ではないので「世論献奉(けんぼう)」は見受けられなかった。口上を述べ、飲み干す。次の人に杯に酒を注ぎ渡す。杯をリレーしていくのである。一巡して終わればいいのに、無限ループになるとヤバいかな。

最後は恒例の次回開催地発表。北海道津別町が手を上げてくれた。第20回となるが、会を興した主たるメンバーは後期高齢者の分類に入りこの辺りが潮時との声も出た。最後になる可能性は高い。

(溝口久メダカ)

■第119回めだかの学校雑感、一瞬『休校』の文字が頭を過ぎる

今回の第119回めだかの学校はまいったまいったの三日間だった。6月1日の午後から降り出した雨は、台風2号の影響で、和歌山から東海地方にかけて線状降水帯が発生する、とニュースで放送している。2日には昨夜来の強い雨が降っている。屋過ぎからスマホに緊急避難メッセージが入り始める。LINEでも。17時過ぎ頃には近くの敷地川の水が堤防の上限近くまで来ている。18時過ぎ班のLINEに前回と同じところが決壊の動画が…。

「明日のめだかの学校、焦るなあ」と石野省三メダカと榊原淑友メダカにLINEする。「引佐町も強い雨が降っている。心配だね」「一宮は田んぼが池になっている。天気予報では明日は午後から晴れと言いが。夜、先生の大杉昌弘メダカから「ポフンティアセンターを立ち上げなければならぬので欠席」。飯田市の河原俊文メダカからは「取材で残念ながら欠席」の連絡が。「テレビ見たけどバラさんとこ

ろ大丈夫？」の電話が何通も。それにしても2日の昼間、めだかの学校のHPの原稿に「第1回めだかの学校は、満月どころか台風之余波で山は大荒れ…」などと書いて村田徳治メダカにFAXしたばかり。その時の状況とダブってくる。

6月3日(土)めだかの学校の開校日。朝4時頃目が醒めると、まだ雨が降っている。「休校」の文字が頭を過ぎる。もう一眠りして6時に起床すると雨はやんでいる。6時半ごろ敷地川の様子を見に行くと水量は大幅に減っており、決壊場所では被災した人たちが立ち話していた。「まいったヨ。9ヶ月しか経っていないのに…。その間県は何やってたんだヨ。人災だヨ。」と悔しさを感じてた。8時頃から日が射しはじめたので「開校」に気持ちを切り替える。聞けば前回より雨量が少なかったせいか被災地域は限定的だったようだ。

10時半ごろ妻の明美さんに車に乗せて貰って学舎へ。道路脇に「めだかの学校」の看板を見てホッとする。学舎の玄関にも舎監の榊原淑友メダカが準備してくれていた。11時ごろにはお弁当も届いて。被災者に想いを寄せながらも開校できて良かった。当日の出席者は30名だった。

(バラメダカ)

■夏休み企画「銀河鉄道の夜コンサート」と「お楽しみ音楽会」2つの音楽会と画家高井一暢「ふるさと心」絵画展

掛川市今滝の高野山真言宗如意輪山「今瀧寺」で8月26日(土)午後6時から。ピアノと歌と朗読と絵画の『銀河鉄道の夜』コンサートがあります。歌と朗読はうめたちあきさん、ピアノは袴田麻純さん、絵画は高井一暢さん。絵画はプロジェクトで投影します。

もう一つは、8月27日(日)午前10時

11時30分(入退自由)の『お楽しみ音楽会』。童謡と抒情歌はうめたちあきさん、民謡は遠州民謡仲間の会、津軽三味線は桑原さん親子の皆さんです。

画家高井一暢さんの「心ふるさと絵画展」は、8月26日(土)27日(日)9時〜17時まで。共に入場料は無料です。問合せは、今瀧寺0537-74-5339、又は埋田千聡メダカ080-3622-4979へ。

■わらび座ミュージカル『いつだって青空』〜ブルマー先生の夢〜公演

9月9日(土)午後1時30分、浜松市天竜区二俣の天竜王生ホールで、ミュージカル『いつだって青空』の公演がある。

明治36年、三年間のアメリカ留学から帰って東京師範学校の教授となり、女子にスポーツの楽しさと夢を伝えたブルマー先生の奮闘記である。入場料は一般4500円、高校生以下2000円。問合せは天竜わらび座を見る会053-9255-2004、又はわらび座090-3255-9328岡崎次余さんまで。

『人・ひと・ヒト…だより』

●静岡市清水区の花井孝メダカ。メダカの生徒は、みんなメダカで生まれて、メダカで天命も…。小さくしなやかで、その上強かに世渡りの達人で、生涯学習のメダカの生徒、ある時は先生で、充実した学校生活を、そして卒業(天命)を迎えたいもの…。メダカが「出世魚」と呼ばれないことが、とてもお似合いのメダカの学校でありたいものです。だって、いや〜まさに優等生の言葉です。(笑)現役のまま天命を迎えて旅立った生徒も多い。

●袋井市の山中幸子メダカ。校長訓話、白

尾恂先生の、コーヒーの耳よりな？はなし。興味深く読みました。リラククス効果と脳の働きの活性化をもたらし、老化の予防、活性化酸素の除去する働きで、昔は体に良くないとされ、現代ではコーヒーは体に良いものとして…、だって。そうだねコーヒーの歴史から効用まで興味を持ったよね。コーヒーを飲む回数が増えたりして。(笑)

●森町の太田康雄メダカ。5月は友好町である北海道森町や、全国町村会の行事で鹿児島県徳之島町など、北から南への訪問となりました。多忙ではありましたが、素晴らしい景色や美味しい食事、有意義な交流を楽しませていただきました。6月4日が結婚記念日で、今年40年を迎えるのでささやかですが妻と出かけます、だって。共にいられるのはいいですね。奥さんには頭が上がりません。(笑)

●磐田市の伊藤英雄メダカ。ワクチン接種6回目の案内が…いつまで続くの？迷い道。会いたい人がいる限り(めだかの学校に)出席を続けたいよ。有難う！風力発電のミニチュア作りを再開。プロペラ制作ってオモシロイ。楽しまなくちゃね、だって。私は4回でワクチン接種はやめました。鈴木正士メダカ、6回接種したのに陽性になっちゃった、だって。

●浜松市の中村明男メダカ。めだかの精神『好奇心』。これが若さの秘密。あちこち好きなことで動き廻って、若者たちとも会合できると、大変だけど年を忘れ、時間が足りません。今日もあっちこっちキョロキョロと…！浜名湖フオークジャンボリー↓浜名湖ガーデンライブ。今年はプレイイベントとして9月24日(日)開催、だって。いや、相変わらず頑張ってるねえ。いいね。

●磐田市の鈴木祐之メダカ。やはり営業中

の屋間は現役の働く世代としては出席が難しくなっております。以前の観音山の時に比べて交通の便がかなり良くなった森町になったの…。また夜に開催を希望します。せめて4回のうちの半分は夜に！金曜日の夜に、これからの現役世代も大切に！お願いしますネ！だって。うーん、希望は受け止めたけれど…ねえ。

●岐阜県中津川市の早川裕康メダカ。継続は力なりですね。もう30年、素晴らしいです。YouTubeを利用して、メダカのチャンネルを作って、動画ものこして欲しい。行けなくても参加できる場を、だって。そうだね、私はメカに弱いけど、強い人も多いもんね。検討する価値ありだね。

●千葉県習志野市の市原実メダカ。遠い距離ですね。たまにはZOOMなどネット通信できるといいですね…、だって。

●浜松市の蜂須賀千賀子メダカ。鰻の「かんだろう」のおかみさん。仕事が健康法になって、お客様との会話を楽しんでおります。欠席届出ずのも忘れてたりでいつも失礼してすみません。同封したはぎお役に立てれば幸いです、だって。未使用の年賀状30枚、通常はがきに交換して使わせていただいています。ありがとう！

●森町の天野智加志メダカ。俳句のこと、学校だよりの記事。俳句は五七五の間を一字あけて表記はしません。(一字あけない)だって。森町俳句結社昨年8月の句。「朝顔や朝が一番朝の顔」淑友。「風の盆めざむる朝も胡弓の音」幸範。「夏草や駅もまぼろし佐久間線」慧舟。俳句で一字明け駄目なの？いただいた句集に、一字あけの俳句それなりにあるけど…と言いつつ私も一句。「梅雨空やこうもり傘に蜘蛛の糸」だめ!?でも五七五おもしろいね。

●掛川市の鳥山剛メダカ。昨年招待を受けた映画「呪い返し師」が縁で、幸福の科学

掛川支部に顔を出さず様になり、女性支部長から大川隆法総裁の本を頂き、その中に二宮尊徳の教えが再々出て来ました。私は大日本報徳社員で総裁のお教えに共感しています。特に最近皆が神仏を尊ぶ事を忘れてる気がします。総裁の著書「地獄の法」に神仏を敬う事の大切さや、地獄の存在、現在の世界情勢などが紹介され、素晴らしい内容です。是非めだか生も読んでください。希望者には私がプレゼントします、だって。

●埼玉県草加市の藤田久枝メダカ。沢山お世話になっております。バラさん、あけみさんお元気ですか？私も修理中だらけの身体ですが、ライフワークのちんどんがいつまで続けられるか？考えながらの日々です、今を毎日楽しんで笑顔で過ごしています、お互いに元気で又逢いましょう!!だって。今もちんどん頑張っている。いいねえ。

●浜松市の徳増兼弘メダカ。小生、相変わらずグランドゴルフですごしております。毎週火・木・土・日で、会員60〜80名でがんばっております。幸いコロナにかかった人はないようです(今のところは)。また便りを楽しみにしています、だって。出席できなくても便りを待たせてくれる人がいる。嬉しいなア。

●磐田市の村田徳治メダカ。先日、獅子ヶ鼻トレッキングコースを歩いてきました。思っていた以上にアップダウンがキツくて、足腰を鍛えることができました。自然の空気を吸うことが出来ました。自然コースです。みなさんどうぞお出掛けを！

●東京都東久留米市の菅原欽一メダカ。G7にゼレンスキー大統領も参加していますが、私は欧米が唱える民主主義が必ずし

も人類の普遍的心理だとは思いません。共產主義にも社会主義にもそれなりの心理と正義はあると思います。ただ戦争だけは絶対的悪だと思っております。ウクライナにも榊原さんのように自分の住む町を少しでも住みやすくするために「めだかの学校」に似た活動をしていた人はきつといたはずですが、正士さんのように誰に頼まれなくとも集落の雑草を刈ったり、村松さんのように先人の足跡を調べていた人もいたでしょう。戦争は無名の市民が営々と築いてきたこれらの試みを一瞬のうちに問答無用で破壊してしまいます。このことを思うと冠動脈の手術前のように心臓の動悸が速くなり息苦しくなるのでした。戦争について自分がこれほど臆病だとは思いませんでした、だって。私も戦争は駄目です。5歳の時、静岡大空襲で焼夷弾の下で逃げまどい安倍川堤防の草まで焼き尽くされるさまを今でも覚えている。隣にいたおばあさんの衣服に火がついて母が必死で火を消してあげていたっけ…。

《新入生紹介》

●飯田市の河原俊文メダカ。飯田下伊那の地域紙「南信州新聞」の記者で、月刊タブロイド紙「三遠南信Biz」の編集長。合言葉は「企業より人」「みんなできり育てる新聞」だって。

●磐田市の山下愛仁メダカ。会津出身で、自衛隊を退職して、この4月から磐田市の危機管理課にいて戦略監として磐田市の防災を担っている。

もっともって載せたかったのですが、今回はこれまで。

※お知らせ
今回のめだか春秋はお休みします。

■事務局だより

暑い、暑い、暑い！。いや〜本当に暑いですね。みなさんはいかがお過ごしでしょうか？我が家では今年もツバメが2回子育てして12羽が巣立ちました。まるで孫のようでした(笑)。

さて、第119回めだかの学校は6月3日。台風第2号で今回は本当に悩みました。校長白尾恂、教頭富田久美子、用務員上嶋裕志。今回授業も大杉昌弘先生が欠席、上嶋用務員も早々と早退。当日の欠席者も：こんなアクシデントも乗り越えてめでたか流で臨機応変に進めることに。

給食を食べ終わった状況をみて、校長訓話を10分早めて13時から始める。白尾恂校長「コーヒーの歴史を語りつつ、220年前に日本人の加藤さんがアメリカでインスタントコーヒーを始める。長い管を通して熱で蒸発乾燥させたもの。インスタントの珈琲の需要が増えたのは、昭和14年ヨーロッパ戦線で兵士が暖をとるため飲んだため、その後ネットスルが冷凍法でインスタントコーヒーを製造、など語る。事務局からは、9月から



始める予定だった給食作り。今の状況では無理。これからは取り寄せて。今回は台風の関係で「開校するかどうか」悩んだことなど話す(※2頁の雑感参照)。

授業については、1時間目、石野省三先生の保健体育「あの頃は若かった」。2人の言い出しっぺに出会わなかったら、今の自分はここにいなかった。第1回目は台風の余波で山は大荒れ、それでも57人が集まった。熱気が凄かった。20代の先生の時、バスケットボールの担当で全国大会に

も出場。陸上の時は、股関節の軟かい生徒がいて、100m走は無理なのでハードルをやらせた。その子は成長し、なんと世界陸上に出場、優勝も。その子を見つけたことは凄いこと。熱演は続いて、幸福論？まで：語る。なんと10分オーバーの30分。あちゃ〜。給食で早めた10分、ここで消化しました(笑)。

2時間目は、大島たまよ先生の国語「伝統を紡ぐ葛布つて」。葛布ができるまでを一枚一枚パネルをめくりながら説明。見るだけで大変な作業が分かる。織った葛布を展示、軽くて爽やかな感触。また葛芽はてんぷらに、大きな葉は馬のエサに、根は葛粉に、つるは葛糸にして布に。昔の人は自分たち用に織った。質問があつて「葛布を使って商品化して販売したい」と思っても大量生産できず無理。伝統芸として継承しようとする強い意志が必要だと。

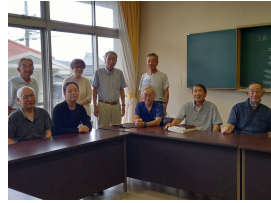
3時間目は、大杉昌弘先生の社会「これからの未来を語る」だったが、被災者のボランティアアセンダー立ち上げのため欠席。急遽、群馬県から出席の松林建メダカにお願いする。「今住んでいる群馬県南牧村は高齢化率No1で、80代が普通、限界集落のようなところ。元IT会社に勤めていたが50歳を前に退職。実家は長野県だが、6年前から住んでいる。田舎暮らしをしながら空き家調査をコツコツやっているが、移住者を受け入れるところが少ない。また「かがり火」のウェブ記事を書いているが、独身だからできることも、と。

私語飲食すべて禁止の次期三役発表。若い人を、と校長鷲山記世。本人は欠席、本日のみの代理校長は袴田克臣。「若い校長なのに代理は年の多い私なの？」だって。教頭横山忠志、欠席で代理は竹野昇。用務員は村田徳治。9月の第120回どんな雰囲気になるのか楽しみですね。新旧引継ぎ

では、現任用務員の上嶋裕志が早退でないで、舎監の榊原淑友が代理任用務員に。今回のめだかの学校は、まさに臨機応変でございました。ハイ。

第120回のめだかの学校の職員会議を、7月8日(土)13時半から学舎で開く。出席者は鷲山記世校長、横山忠志教頭、村田徳治用務員の三役と、榊原淑友、石野省三、伊藤英雄、服部守孝、鈴木真弓、大島たまよ、榊原幸雄の10名。はじめに「建学の精神」のコピーを配る。このコピーは便りに同封して全生徒に配る予定。議題は31期の通年テーマと、120回のテーマと授業について、話し合う。いつものようにあつちに行ったりこつちに来たり：。

「建学の精神」のコピーを配ったのは、そんなところをテーマにしたのでは：？」の意見もあつて、通年テーマは「原点に帰ろう：」に。



120回のテーマはそれを受けて「誰が生徒で先生で：」に。授業は通常期初は1時間の特別授業だが、今回は新人3人しよと、ユーチューブの話もしたこともあり、1時間目は小林成彦先生の情報教育「今更聞けない？デジタルの世界つて：」、2時間目は河原俊文先生の社会「企業より人つて：」。河原先生は南信州新聞の記者で、三遠南信地域を中心に取材している。

3時間目はお待ちせしましたの袴田克臣先生の古典「今の時代に方丈記つて：」に。いや〜まさに三者三様。どんな授業になるのか楽しみですね。(事務局 バラメダカ)

■第31期の受付を始めています。

第31期は、令和5年9月1日から令和

6年8月31日までです。6月3日の開校日より受け付けています。7月15日現在36名の生徒が提出しています。未提出の生徒には改めて同封します。8月31日までに提出して下さい。毎年度手続きが必要です。手続きされないと自主退学扱いとなります。ご注意ください。入校を希望される方がいましたら、ご連絡をください。『若い人がいいなア』だって。(笑)。

■今回も遅れました。ごめんなさい。全国まわつくり交流会の報告、溝口久メダカ、生原稿のメール打ちの石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、大島たまよメダカ、水島加寿代メダカ、村松達雄メダカ、まとめて下さる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございます。写真村田徳治メダカ感謝！。

■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、令和5年11月1日予定。締切10月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。メールの方は、
《 mavun. f100@gmail.com 》
間瀬亮太090・5009・0986です。
(アドレスが変わりました。まだ昔のアドレスも可)

■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05
39・62・6691 (FAX同じ)
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 0538・89・77
30 開校日の午前11時以降のみ使用可。
携帯 080・1612・9130

